

### 3 授業研究の実践

#### 【授業研究1】 中学校第3学年 Program 5 Sharing for Self-Help

##### (1) 授業研究にあたって

学習指導に関する意識・実態調査によると、生徒は英文の内容がわかり、英語を聞いて話せた時に喜びを感じているという実態が分かる。しかし、実際に授業においては、生徒が英語を話せる喜びを感じる指導の工夫はなされていても、聞いてわかったという喜びを感じる指導の工夫についてはまだ不足していると思われる。そこで、授業の中で、生徒一人一人が聞くことに興味・関心をもって、意欲的に学習できる指導法を探ろうとした。

生徒が、興味・関心、意欲をもって学習するためには、日頃から、どの生徒も聞くことに抵抗なく臨める教室の雰囲気を作り出しておくことが大切である。また、耳からだけではなく、OHPやピクチャーカード等を用いて、聞き取りやすい主体的な活動ができる場面を設定することも大切である。

この研究では、生徒の聞き取る力に対応するリスニング教材を作成し、その活用を図れば、生徒一人一人の聞くことへの興味・関心、意欲や、生徒のリスニング能力に対応できるのではないかと考えた。その工夫として、課題やヒントを段階的に取り入れたワークシートの活用を図った。つまり、「学ぶ側に立った段階的なリスニングの指導法」を「生徒の聞く力に応じた指導法」、あるいは「個に応じたリスニングの指導法」としてとらえ、課題やヒントを段階的に取り入れたワークシートの活用を試みたのである。

##### (2) 展開上の留意点

本時は、段階的課題及び段階的ヒントを取り入れたワークシートの活用を通して、段階的なリスニングの指導法を探ることをねらいとして展開した。普通の授業で活用できるということを念頭に置き、内容の導入時及びまとめの段階においてワークシートの活用を位置付け、段階的課題及び段階的ヒントの有効性を検証しようとしたものである。

##### (3) 学習指導案

1 日時 平成5年10月8日(金) 第5校時

2 クラス 3年3組(男20名,女20名)

3 題材 Program 5 Sharing for Self-Help

(SUNSHINE ENGLISH COURSE 3, KAIRYUDO)

4 指導計画(6時間取扱い,本時は第1時)

5 本時の指導

###### ① 目標

ア It~(for ~) to... の文を用いて自分のことについて話したり、ネパールの現状を理解することができる。

イ 習熟度に応じて、「聞くこと」の学習に興味・関心を持ち、意欲的に取り組むことができる。

② 展 開

学 習 活 動	教 師 の 支 援 ・ 評 価 (○は評価)
<p>1 あいさつと簡単な会話をする。 Good afternoon, everyone. Did you watch ~ on TV yesterday? (2分)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・明るく元気なあいさつとウォームアップを図る。</li> <li>・意図的指名により、意欲の喚起をする。</li> <li>○ 本時の学習に意欲的か。〈あいさつ〉</li> </ul>
<p>2 学習課題を把握する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>医師と看護婦との会話から、何がわかるか聞き取ろう。</p> </div> <p>(5分)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全員が課題を把握できるようにわかりやすく説明する。</li> </ul>
<p>3 内容の導入から、あらましを理解する。 (1) オーラル・イントロダクションを聞く。 (2) 内容について、簡単なQ &amp; Aで確認をする。 (3) ワークシート1を使って活動する。     Ⓐ 絵だけを見て取り組む。     Ⓑ 絵と単語を見て取り組む。     Ⓒ 絵とキーセンテンスを見て取り組む。     Ⓓ 絵と日本語を見て取り組む。 (10分)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ピクチャーチャートを見せながら、どの生徒にもDr.KawaharaとNepal という語が聞き取れるようにする。</li> <li>○ Dr.KawaharaとNepal について正しく聞き取ることができたか。〈発表〉</li> <li>・課題の把握と選択について説明を聞く。</li> <li>○ 適切に課題を選択し、意欲的に聞きとることができたか。〈ワークシート1〉</li> </ul>
<p>4 新教材の学習をする。 (1) 教師の口頭導入により、It ~ (for~) to .... の文型を理解する。 (2) ワークシート2を使ってIt~ (for~ ) to .... の練習をする。 (3) 新出語句の練習をする。 (4) 音読練習をする。 (15分)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既習の不定詞を利用し、数多く練習する。     〈ワークシート2〉</li> <li>・フラッシュカードを使って、能率的に学習する。</li> <li>・内容をとらえながら読む。</li> </ul>
<p>5 本時のまとめをする。 (1) 内容についてのQ &amp; Aをする。 (2) ワークシートを使って活動する。     ア ワークシート1の確認をする。     イ ワークシート3を使って活動する。 (15分)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 本文の内容についての質問に答えることができたか。〈発表〉</li> <li>・他の課題も同時に取り組み、その後TPで答えを確認し、なぜ間違っただのかを考える。</li> <li>○ 集中して意欲的に聞くことの活動に取り組めたか。〈観察〉</li> </ul>
<p>6 次時の課題を把握する。 (3分)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ テープを聞いて、ネパールの現状について書くことができたか。〈ワークシート3〉</li> </ul>

#### (4) 展開上の工夫

##### ア 段階的リスニング課題（ワークシート1）の活用を通して

###### (ア) 段階的リスニング課題の内容

本文の内容を分析し、これだけは聞き取って欲しいという内容をもとに課題の作成にあたった。その際、自由筆記→筆記→選択（T-F）の順で難易度を変え、生徒のリスニングに対応できるようにした。聞くことの課題は、本来大まかな内容から少しずつ細部を問うような内容に段階化されるべきである。細部を問われる方が難しいからである。しかし、聞くことの活動をしている生徒個々へ目を向けた時には、必ずしもその流れをとる必要はないと考えた。なぜならば、個々の単語だけを断片的に記憶する生徒も多いからである。また、生徒が課題に取り組む時の意識には、記述式の大まかな課題よりも、細かくても選択式の方を好む傾向がある。これらを考慮して、大まかな課題から細部を問われても気軽に組み立てる課題へという段階を取り入れて課題を作成した。また、選択式の課題では、どこが間違っているのかを発見させる課題も付け加えることにより、さらに段階化を図った。

###### (イ) 課題及びヒントの作成にあたって

###### a 課題の作成

課題は、生徒全員が「やってみたい。」という意識・意欲を持てるものでありたい。この点考えた時、英語で課題を与えたり、英語で答えを書かせるような課題では、英語を読み取ることが苦手な生徒や、英語を書くことが苦手な生徒にとって、課題に取り組む意欲が高まらないと考えた。聞くことの指導の中心となるねらいは、「語句や文の意味を正しく聞き取ること」に始まり、「まとまりのある文章の概要や要点を聞き取ること」にある。このねらいに迫るためには、英語で課題を与えたり、英語で答えを書かせたりするよりも、日本語で課題を作成し、日本語で取り組ませる方が、より意欲が高まると考えた。そして、それを基盤に英語で答えることも可能であることを約束しておけば、さらに習熟度の高い生徒のリスニング能力に対応できると思われる。

###### b ヒントの作成

どの課題にも、絵をヒントとして付け加えた。段階的課題を意欲面への配慮ととらえると、絵を用いたヒントは、技能面への配慮とも言える。つまり、課題をつかみ、やる気を持って聞くことの活動に取り組んだとしても、生徒一人一人がもつ聞くことの技能にはかなりの開きがある。そこで、生徒の聞き取りを助ける資料が必要であると考えた。その一つが効果的な絵の活用である。さらに、単語や文及び日本語の助けを借りることで、聞くことの活動への意欲・集中力を高めることができると考え、ヒントも付け加えた。



資料1 ワークシート1

(ウ) ワークシートの活用にあたって次のような流れで活用した。

- a ワークシートを配付し、ふせたままテープを聞かせる。
- b ワークシートにある4種類の課題の中から一つを選択させる。
- c 2-3回テープを聞かせながら、課題に取り組ませる。
- d すぐに解答せずに、まとめの時にもう一度取り組ませる。その際、他の課題にも挑戦させる。
- e 自己評価をさせる。そのあと間違いの原因等を確認させ、提出させる。  
(評価に活用する。)

Program 5-1

3- Name \_\_\_\_\_

① 次の文に質問に答えてみましょう。>  
 ・川原医師は、普通科にどんなことをいってましたか。  
 ( )  
 ・看護婦の考えは、どんな内容でしたか。  
 ( )  
 ・看護婦の言葉を聞いて、川原医師はどんなことがわかりましたか。  
 ( )

② 次の文に答えてみましょう。>  
 ・川原医師は、男の人にいつ来るように言いたかったですか。  
 ( )  
 ・男の人は、薬につくのじれくらくいかりですか。  
 ( )  
 ・ネパールでむずかしいことは何ですか。  
 ( )



Dr. Kawahara



A nurse



The man



A nurse



understood



too late

③ 次の文に関連している所があれば、そこに線をひき、正しくしてみましょう。>  
 ・期間は、1週間にもう一度検査したかった。  
 ・男の人は家から病院まで車で1週間以上かかる。  
 ・3-3では、医師に診察してもらうことは難しい。  
 ・3-3では、手遅れになる人が多い。


④ 次の文が正しいければ○、間違っていれば×を( )に書きましょう。>  
 ・期間は、1週間にもう一度検査したかった。( )  
 ・男の人は家から病院まで車で1週間以上かかる。( )  
 ・3-3では、医師に診察してもらうことは難しい。( )  
 ・3-3では、手遅れになる人が多い。( )

I have to look at his wrist again.



The man

He has to wait more than a week.



A nurse

It's very hard for people to come to see a doctor.



too late

川原医師



男の人

看護婦

あかぬければならない



わかった

しばしば遅すぎる(手遅れ)

イ 段階的ディクテーション課題

(ワークシート3)の活用を通して

(ア) 課題及びヒントの作成にあたって

この資料は、本時のまとめとしてテープを聞いて内容を理解するためのものである。Dr. Kawahara と Nepal という語については、導入の段階で理解できているので、それらを手がかりにして、共通的なものをもとにした聞き取れる内容を考えた。それは、本文全体の内容でなく、キーセンテンスを含む文を中心とし、内容のあらましを理解するためのものである。課題の段階は(1)難～(3)易へとなっていて、個の能力に応じて選択できるようにしている。

資料2 ワークシート3

3- Name \_\_\_\_\_

ネパールの現状について聞き取ってみましょう。次の(1)～(3)のうち1つを選び、テープを聞いて英文を聞き取ってみましょう。

(1) Dr. Kawahara \_\_\_\_\_  
 is Nepal \_\_\_\_\_  
 When \_\_\_\_\_

(2) Dr. Kawahara says \_\_\_\_\_ in Nepal. \_\_\_\_\_ very hard \_\_\_\_\_ to \_\_\_\_\_ to \_\_\_\_\_ a \_\_\_\_\_  
 When \_\_\_\_\_ at the \_\_\_\_\_  
 It \_\_\_\_\_ late.

(3) Dr. Kawahara says \_\_\_\_\_ in Nepal. \_\_\_\_\_ very hard \_\_\_\_\_ the \_\_\_\_\_ to \_\_\_\_\_ to \_\_\_\_\_ a doctor.  
 When \_\_\_\_\_ arrived at \_\_\_\_\_ hospital, it \_\_\_\_\_ often \_\_\_\_\_ late.

\*内容のあらましを日本語で簡単にまとめてみましょう。

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

- (イ) ワークシートの活用にあたって  
次のような流れで活用した。
- a ワークシートを配付する。
  - b 3種類の課題の中から一つを選択させる。
  - c ワークシートを3つに折らせて、自己の課題に集中させる。
  - d 1回目と2回目はテープを通して聞かせ、大まかに英文をとらえさせる。
  - e 3回目と4回目はポーズを入れて聞かせる。
  - f 書けたら、他の課題に取り組ませる。

## (5) 反省及び考察

### ア 授業の反省

#### (ア) 段階的リスニング課題（ワークシート1）を活用して

4種類の課題（自由筆記 → 筆記 → 訂正 → 選択 [T-F]）を見て、自分に興味のある課題を選択していた。ピクチャーチャートを見ながらテープを聞いて課題に取り組んだので、真剣に取り組むことができた。その結果は、ほとんどの生徒がBとD（取り組みやすい課題）を選択していた。

#### (イ) 段階的ディクテーション課題（ワークシート3）を活用して

1回目はかなり慎重になり、取り組みやすい課題を選択していた。これは、ディクテーションということ、「書くこと」の活動と結びついていることによると考えられる。そして2回目は、1回目より難しい課題へ挑戦しようとする生徒が少し増えた。さらに回数を重ねていけば、もっと難しい課題に取り組めるようになると考える。

### イ 意識調査

「聞くこと」の活動をする時に、「このようなワークシートについてどう思いますか。」という問いに対して、「自分のレベルで取り組めるのでいい。」「わかりやすくてよかった。」「リスニングの力がつくように思う。」「なんとなく真剣に取り組みたくなる。」「だんだん理解が深まっていた。」という回答が出てきた。これは、「個に応じたリスニングの指導」の成果であると思えることができる。

ヒントを取り入れた段階的リスニング課題のワークシートは、回を重ねるにしたがって慣れてきて、生徒一人一人が自分の能力に応じて適切に課題を選択し、能動的に取り組めるようになってきた。段階的ディクテーションを取り入れたワークシートは、聞いて書くという作業を伴うので、リスニングの力が十分についていない生徒にとっては、戸惑いがあるように思われた。しかし、回を重ねるごとに、少数ではあるが、より難しい課題を選択する生徒が増えてきたことは、ワークシートによる学習効果があったと言える。

今後は、「学ぶ側に立った段階的リスニングの指導」・「個に応じたリスニングの指導」をするために、身近な話題について意欲的に取り組めるように、学年に応じて1年間の段階的指導計画の作成をしたい。また、1単位時間の中で、より段階的なワークシートの工夫をしながら、効果的な授業展開をめざしたい。さらに、生徒の聞くことへの興味・関心、意欲の適切な評価の在り方について研究を深めたい。